2019年2月某日

差枚	-2055枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ蒼天の拳 朋友、SLOT魔法少女まどか☆マギカ2
スーパーリノXX、アナザーゴッドハーデス

実戦レポート

今回のホールは、前回12/15では見事に「S級」を獲得し、それ以前からも相性の良さは抜群。ただ当然ながら、そんなホールには段々とお客さんも増えるもので、この日も50人弱の抽選参加人数の中、引いた番号は「29」。狙い台は取れないかなぁ…と思いながら入店すると、バッチリ空いてるぅー！　という事で、初打ちとなる「パチスロ蒼天の拳 朋友」からスタート。

しかし、この時点では「死合の刻」中にいくつかある推測要素や、終了時のトロフィー等しか設定推測の情報は無い。幸い少ない投資で何回か当りを引けて、それらの出現率を見ていくと、「偶数設定示唆が頻発」「高設定示唆はチラホラ」といったところだが、果たしてこれが信用に足るものなのかどうか？　以前にも「HEY！鏡」の初打ち時に偶数設定示唆が頻発したものの、後から解析情報が明らかになったら、「ただの偏りだった」という結論になったことがあったし。

そんな事を考えながら打っていくと、調子良く当たっていたはずがいつの間にか持ちメダルがノマれ、追加投資は10K、20K、30Kと進む。情報が少ない中でこれ以上粘るのは危険か…と判断し、蒼天はここでいったんヤメる事に。ただ、同じシマの中に早々と「設定6濃厚演出」が出た台があることだけが気がかりであった。もともと「今日、全台高設定のシマがあるとすれば候補だろう」という読みで座ったので、その条件としては合致していたからだ。

そんな状況なので、得意なまどマギ2に座っても、最近お気に入りのスーパーリノXXでトマトを設定6以上の確率で引いて8連続でハズしても、気になるのは蒼天のシマだった。案の定オレがヤメた台はすぐに確保され、そしてオレが作ったマイナス分を取り戻すように出始めている。ああ、やっぱり蒼天が全台シマだったか。いやでも、低設定を打った経験すら無い中、あの展開ではヤメてもしょうがない。いやいや、もうちょっと粘っても良かったんじゃないか…

そうしているうちに時は経ち、いよいよ店内の誰もが「**蒼天がアタリだ**」と確信した頃、オレはハーデスに移動し、投資は4000枚へ届こうとしていた。そこへまさかの、「僕もうヤメるんで、打ちますか？」の声。キリン柄トロフィーが出て設定5以上が確定の蒼天を打っていた、ニコナナ視聴者である。自力じゃなく、おあつらえ向き的にストンと座らせてもらうような高設定への辿り着き方はどうなんだ？　そんな葛藤はアリアリのアリだったが、番組視聴者に見せる台としては、これ以上の条件はない。まぁ、朝イチは自分もそのシマに居たことだしな…と自己完結して、ありがたくその台で2000枚近くを回復し、手厚い介護をされるような「B級」獲得でした。